

探究型学習推進協力校 計画一覧

平成30年7月2日現在

学校名	研究概要及び研究の推進体制等	重点教科	研究テーマ	授業公開日・研究会等
山形市立第三小学校	・「資質・能力」「カリキュラムマネジメント」「生徒指導三機能」というキーワードの授業づくり ・外部講師を招いての学集会、全校研(年3回)、11月に研究協議会(自主公開)を実施 ・研究主任を教育マイスターとして指名し、OJT支援員を活用し、校内授業参観・校外研修に参加	算数を窓口に	ともに学び、豊かなくらしをつくる子どもの育成(10年次) ～子ども理解から進める探究型学習～	○11月22日(予定)
山形市立第五中学校	・授業構成に当たり、PDCAサイクルの在り方を探り、全ての校内授業研において外部から助言者を招聘 ・大学との連携を継続し、第1回(6月)と第3回(1月)の校内授業研は広く参会者を募る ・一人1研究を通じた教員の資質向上	全教科	主体的に学習し、創造的な学びを培う 生徒の育成(1年次)	○6月5日(国語・数学・英語・特支) ○11月12日(予定) (社会・英語・保健体育・他1教科)
天童市立天童南部小学校	・学校研究を充実させるために、カリキュラムマネジメント編成部会、学年会、カリキュラムマネジメント研修会を実施 ・研究成果を発信する公開研究会(10月、3月)、他校(中学校区含む)の実践者を招いた拡大大会(6月、9月、2月)の実施 ・教務主任、研究主任と連携によりカリキュラム・マネジメント(組織・環境・授業改善)を充実	総合・生活科を中心にするが教科フリー	豊かな心を用い、より良く生きる子の育成 ～人間性の涵養に向かう教育課程のあり方について(2年次)～	○11月13日 ○8月6日 カリキュラムを編成している様子を公開
寒河江市立寒河江小学校	・各教科で付けたい資質・能力に焦点をあて、新学習指導要領の全面实施をにらみ研究を推進 ・全体をリードする統括マイスターを、低・中・高・特支のそれぞれに校内マイスターを配置し日常的な研究を実施 ・陵東中学校区と連携を図りながら研究を進め、11月に公開授業研究会を開催	全教科(国・算を中心)	探究する子どもの育成	○11月12日
河北町立谷地南部小学校	・「考え方を学ぶ」をキーワードとし、知識・技能や探究のプロセスを教科内で閉じないカリキュラム・マネジメントを実施 ・OJT支援員の配置により種々の業務を担い、他学級の授業参観をととした日々の授業実践の質の向上を図る ・山形大学の研究アドバイザーを招いての計8回の授業研究を核として、10月に公開授業研究会を開催	国・算・道徳	今も未来も輝く主体的・協働的な学びの育成(仮)	○11月28日 (1年算数・6年国語)
河北町立河北中学校	・「根拠→理由付け→主張」という論理的な思考・表現にせまる探究のプロセスの成果を教育課程全体で発揮する ・谷地南部小の研究アドバイザーから支援を得ることで、小学校と足並みをそろえた研究を実施 ・3年間の研究で得られた授業改善の視点を生かした授業を公開(11月)し、多くの教員との意見交流を図る	5教科	自ら学ぶ意欲を高め、生き生きと学び合う生徒の育成 ～主体的・協働的な学びのある授業を通して～	○公開授業日 5月28日・9月14日 10月15日・11月14日
新庄市立新庄小学校	・全教科・全領域で、魅力ある単元構成、考える必要感のある課題設定、思考を深める教師の関わり方等を研究 ・新庄中学校との共通テーマのもと授業公開(他校参加可)を実施し、「新庄小授業スタンダード」構想を外部に発信 ・退職教育マイスターが若手や学年団に助言するとともに、評価問題(国語・算数)を作成し授業づくりに生かす	全教科	進んで関わり、互いに高め合う児童の育成 ～教科等の本質を大切にし、学び合い、支え合う教室を目指して～	①5/29 ②6/19 ③6/29 ④7/5 ⑤9/5 ⑥9/19 ⑦10/2 ⑧10/16 ⑨10/23 ⑩11/6 ⑪11/27 ⑫1/24
新庄市立新庄中学校	・新庄小学校と共に小中一貫教育の視点から9年間で子供を育てる探究型学習を継続して研究 ・山形大学との連携のもと、年10回の授業研究会を実施するとともに、自主公開授業研究会(9/3)を開催 ・最上地区の中学校と校内研修会の日程を共有し、授業公開と事後研究会を通じて互いの学び合いの場を設定	全教科	進んで関わり、互いに高め合う生徒の育成 ～教科等の本質を大切にし、学び合い、支え合う教室を目指して～	①5/28 ②7/9 ③9/3 ④10/1 ⑤11/2 ⑥12/10 ⑦1/15 ⑧2/4
長井市立長井小学校	・各教科の研究の視点を明確にし、単元構成の工夫と協働的な学びによる交流活動を重視し、考えを深めていく ・PDCAサイクルを重視し、事後研の話し合いの視点をもち、アクションプランとともに日常授業の実践を積み重ねる ・教育マイスターが校内研修を企画・運営・コーディネートし、若手教員の育成を図りながら学校組織を活性化	国語・社会・算数・理科・特別支援教育	「自ら学び、共に広げ深め合い、いのち輝く子どもの育成」 ～探究型学習を通して、考える力の向上に向けた指導の工夫～	○授業研予定日 ①6/6 ②6/15 ③6/27 ④9/26 ⑤11/7 ⑥11/21
長井市立長井南中学校	・すべての教科で探究型学習が有効な単元を検討、教材開発を行うとともに、教科を超えたカリキュラムを検討する ・個人研究プランを作成し、全員で研究実践を積み上げ、年度末に個人研究実践集を作成 ・仮説や理論の確かな構築を図るため、年3回(5/30,10/17,11/22)の全校体制の授業研究会(外部公開)を実施	全教科	「関わりの中で、主体的に課題解決をめざす授業づくり」 ～子どもの学びの姿から考える～	○事業概要記載の日程 ※教科などの詳細は5月2週目頃に決定
高島町立高島小学校	・「自分事として主体的に学習に取り組む児童の姿」「子どもの学習活動量を保障する授業改善」の視点で研究を深化 ・小中連携により互いの授業研究会や事後研究会に積極的に参加し、9年間の探究型学習推進カリキュラムを編成 ・教育マイスター制度により、若手教員の意欲や主体性を生かすための個々のニーズに応じる研修メニューを工夫	国語・算数	主体的に学ぶ子どもの育成 ～自分事として つかむ・かかわる・かわる～	○10月26日 高島町教育委員会委嘱公開研究会 1～6年国語・算数、特別支援学級
高島町立高島中学校	・研究推進委員会を定例化して理論研究を進め、「めあて・学び合い・振り返り」を位置づけた授業を実践 ・総合的な学習の時間と教科学習が相互補完する全体構想・計画作成等のカリキュラム・マネジメントを実施 ・町内の幼小中連携事業の組織を生かした情報発信・共有化により、縦の小中連携、横の小々連携を促進	全教科	「次代を生きぬく力の育成」 ～対話と協働(学び合い)を取り入れた授業づくりを通して～	○11月30日(予定) (中高教員相互派遣研修「英語」研究授業も同時開催予定)
鶴岡市立朝暁第一小学校	・「自ら考え」「共に学び合い」「学びを広げ深める」子どもを目指し、図書館を活用しながら情報活用能力を高める ・実践研究の教科に縛りをなくし、指導助言者を要請しながら校内授業研究会を年5回実施 ・教育マイスターのイニシアチブのもと、全体研修会等の企画運営に当たり、各学年の教材分析にアドバイザーとして参加	国・算・生・社	自ら考え、ともに学び合い、学びを広げ、深める子どもを目指して	6月27日・9月19日・10月31日
鶴岡市立鶴岡第三中学校	・「関わりを持ち、お互いに高め合う生徒の育成」をめざし、教育活動全体で質の高い関わり合いの在り方を探る ・関わり合う力を育てることで、思考力や判断力も含めた学力向上へとつなげていく ・小学校に配置された教育マイスターが、中学校の日常の授業や授業研究会時に小中連携の視点で指導	全教科	「学び」を活かせる生徒の育成 ～「探究型学習の日常化」と「実感ある学びのための評価」との関連化～	6月6日・10月17日
酒田市立西荒瀬小学校	・年間3回の授業研究会の開催に当たり事前学習会を実施するとともに、公開研究発表会(11/20)を開催 ・授業実践を参観する機会をもうけ、研究状況を共有するとともに、外部講師より、研究の方向性について示唆を受ける ・教育マイスターと研究主任を兼ね、探究型学習の推進役とする	算数	子どもを見取り 単元構想をつくることで主体的に学ぶ子どもを育てる ～子どもたちが生き生きと話し合う授業を目指して～(仮)	6月27日・10月2日 ○公開 11月20日
酒田市立第一中学校	・単元構成、ねらいに迫るための場、シラバスを活用した振り返り等の工夫により学ぶ意欲を高め学力の向上を図る ・外部講師として大学の先生を招聘して指導を受け、校内授業研究会(7月・11月)と公開授業研究会(1/25)を開催 ・教育マイスターが研究主任を兼務しながら、研究の推進に努める	全教科	確かな学力の向上を目指す学校づくり ～学ぶ意欲を大切にした授業づくりと、学習支援体制の整備を通して～	7月4日・11月6日 ○公開 1月25日
山形大学附属幼稚園	・遊びの事例を、4つの視点(主体的態度・遊び課題の生成・他者との関わり・対象との関わり)から捉え、考察する ・考察したものをもち「遊びこむ子どもの姿」とはどういう姿なのか話し合い、迫っていく事例検討会を実施 ・日々の実践録(遊然草)を各自が記録し、定期的に遊然草を持ち寄り、互いに保育について語り合い、次の実践につなげる	保育	遊びこむ子どもを育む	○6月6日 公開研究協議会
山形大学附属小学校	・授業やくらしにおける問題解決を通して、子どもが自分のよさを実感しながら生き方をかたちづくっていく日々の取り組み ・「各教科の本質に迫る問題解決型の単元づくり」及び、「学級カリキュラムによる取り組みの充実」を図る ・前述の研究を推進するために、学習指導研究協議会(6/21・6/22)・各教科等研究協議会(11/1・11/8)・大研・小研を実施	全教科・領域	「よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び」	6月21日 午後:全体会・公開授業・分科会 6月22日 午前:公開授業①②・分科会① 午後:分科会②特別企画
山形大学附属中学校	・学びの意味を実感し、よりよいものを求めて探究し続ける生徒の育成を目指し、育成すべき資質・能力を明確にした授業改善 ・2年次研究のまとめとして公開授業研究協議会(5/24,25)を実施するとともに、授業研究会(11/14,15)を実施 ・共同研究者として山形大学や全国の大学の先生方からも適宜指導助言・講話をいただきながら研究を推進	各教科	未来を創る豊かな学びの探究 ～教科を中心に育む資質・能力～	5月24日 午前:授業、分科会 5月25日 午前:授業、分科会 午後:全体会、講演会
県立東桜学館中学校	・探究的な学びのサイクル【現状理解】【課題発見】【創造】【検証】【振り返り】を通して、確かな学力を育む ・大学の先生と連携し、公開発表会(2/16)を開催して実践を報告する ・中高の連携を密にして、6年間を見通して生きてはたらく力を付けるための研究を推進する	総合	これからの社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 (1年次)	○2月16日 公開発表会

※下線…新規校